

## 養生作業とは

1. 塗装する時に塗料を着けてはいけない箇所、汚してはいけない箇所をマスキングする作業
2. 塗装の色分けなどで前に塗った塗装に新しく塗る塗料を付着させたくない箇所、見切りのライン(線)をきれいにしたいときにマスキングする作業

### ※養生における注意点

- 養生は塗装方法により、養生方法を変える必要がある  
(例) ドア塗装におけるドア金物養生の場合
  - ◇ ローラー塗装の場合  
ダメコミでハケの塗料が付くのと、ローラーの目を合わせるために金物ぎりぎりまでローラーを付けるので金物に付く塗料は金物の周りなのでテープを貼るだけで良い
  - ◇ 吹付け塗装の場合  
スプレーガンで塗料を吹付けるので、金物全体に塗料が付着するので、金物全てを養生する
- 養生はテープの貼りが悪いと塗装した箇所と塗装していない箇所の線が曲がってしまい良い仕上がりが得られないので、大事な作業である
- 「なぜ養生が必要なのか」を理解し、正しい養生を行わないとお客様の商品を汚してしまう。
- **ストーブの給排気口をふさぐと不完全燃焼を起こし大きな事故に繋がる場合がある。**  
( F Fヒーターの給排気口、ガス給湯器の給排気口、エアコンの送風機など)

## 養生材の種類

- テープ
  - ◇ マスキングテープ 紙に特殊加工したテープ 粘着力が弱いが薄いため隙間が無く貼れる
  - ◇ ガムテープ 布製のテープ 粘着力が強いので外部などに使用される
  - ◇ パイロンテープ ナイロン製 のり残りが少ないテープ
- ポリシート
  - ポリエチレン製シート 厚みが 0.1 ミリ、0.3 ミリ、1 ミリ等があり  
長さは 900 ミリ、1800 ミリ、1800 ミリW (3600 ミリ) 等がある
- ロールマスキング
  - ◇ ビニール (ポリシート) 製
  - ◇ 紙製
  - ◇ 長さは 300 ミリ、550 ミリ、900 ミリ、1800 ミリ等があり、各マスキングのテープ部分もガムテープ製、マスキングテープ製とある

## テープの貼り方

1. ラスター刷毛で養生する所の埃を掃く
2. 右手の親指でテープ筒外側の中央、人差し指でテープ筒の中側中央で挟んでもつ。  
左手は引き出したテープの端を親指と人差し指で挟んで持つ
3. テープを 40 センチから 60 センチくらい引き伸ばす
4. 左手で持ったテープを貼りたい先端に持っていき、右手で真っ直ぐな線になるように右手で位置を調節する
5. ラインが決まったら右手の親指でテープを押さえる
6. 右手でテープを押さえテープを貼る
7. そのまま貼り続ける場合は、左手の親指で貼ったテープと伸ばしたテープの境を押さえ、  
右手で線を調節して上記の通りテープを貼っていく
8. 貼り終える場合は左手の親指でカットする場所を押さえ、右手でカットする部分の張っていない側を持ち、テープをひねりながら引っ張りテープをカットする

**point !** 塗料は乾燥後、ひとつの膜を形成するのでテープを剥がした時に塗装面の塗膜も一緒に剥がれることがあるので、塗膜の厚みを考えて数ミリ程度塗装面から外側にずらしてテープを貼る「にげる」「テープをにげて貼る」という

**point !** テープを貼る面が石膏ボードやクロス等のテープを剥がした時に下地が剥がれる場合、ガムテープやマスカーでは塗料がにじむ場合はマスキングテープを貼ってからガムテープやマスカーを貼る

**point !** 入隅部はパテペラを当てて角の奥までしっかりとテープを付着させると塗料のにじみがなくなる

**point !** コーナ部ではパテペラを当ててテープを 90 度で切り、そこから貼っていく

**point !** 夏場など暑くなる時期はテープの粘着分（のり）が養生を剥がした時に残ってしまいます。そのような場合は早めに養生をはがす、粘着力の弱いテープを使用するなど対策をとる  
もし、のりが残ってしまった場合はシンナーなどで拭くよりも、テープの粘着面をのり残り部に付着させ、テープを引っ張るとのりが取れやすい

**point !** 粗面などでテープが付かない場所にはテーププライマーを吹き付けてから塗装する。  
テーププライマーはボンドを薄めたものなので吹き付けすぎると跡が残るので注意が必要

### **マスカーの貼り方**

1. ラスター刷毛で養生する所の埃を掃く
2. 右手の親指でマスカー筒外側の中央、人差し指でマスカー筒の中側中央で挟んでもつ。  
左手は引き出したマスカーのテープ部端を親指と人差し指で挟んで持つ
3. マスカーのテープ部を 40 センチから 60 センチくらい引き伸ばす
4. 左手で持ったマスカーのテープを貼りたい先端に持っていく。右手で真っ直ぐな線になるように右手で位置を調節する
5. ラインが決まったら右手の親指でマスカーのテープを押さえる
6. 右手でマスカーのテープを押さえマスカーを貼る
7. そのまま貼り続ける場合は、左手の親指で貼ったマスカーのテープと伸ばしたマスカーのテープの境を押さえ、右手で線を調節して上記の通りマスカーのテープを貼っていく
8. 貼り終える場合は左手の親指でカットする場所を押さえて、ハサミを使用しテープ部とビニール部をカットする
9. ビニールを伸ばし、テープで止めていく

**point !** 550 ミリ以下のマスカーはハサミを使用しなくてもカットできるが、カットしたビニールは斜めになるので次に使用する時は先端に少し余裕をもって貼る必要がある

**point !** 窓など上下にマスカーを貼り、ビニールを重ねる場合は下のビニールに上のビニールを重ねると塗料のタレで窓が汚れにくい

以上